

【NEWS RELEASE】

2020年11月10日

各 位

株式会社ブリースコーポレーション
日本電気株式会社
株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行

ファミリーマートにおけるコンビニ収納サービス「PAYSLE（ペイスル）」の取り扱い開始について

日本電気株式会社（以下 NEC）と株式会社三井住友銀行（以下 三井住友銀行）の共同出資により設立した株式会社ブリースコーポレーション（以下 bree 注1）は、株式会社ファミリーマート（以下 ファミリーマート）が展開する全国の店舗において、スマートフォンを活用したコンビニ収納サービス（名称：「PAYSLE（ペイスル）」）の取り扱いを、本日より開始しましたのでお知らせします。ファミリーマートでの「PAYSLE」取り扱いは、まず 東京電力エナジーパートナー株式会社（以下 東京電力エナジーパートナー）の料金収納より開始し、順次様々な請求事業者へと取り扱いを拡大してまいります（注2）。

「PAYSLE」を取り扱うコンビニエンスストア（以下、コンビニ）は、2017年9月にミニストップ株式会社（以下 ミニストップ）、2017年12月に株式会社セコマ、2018年7月に株式会社ローソン（以下 ローソン）、2018年12月に株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下 セブン-イレブン）と拡大しており、今回、ファミリーマートでの取り扱い開始により、国内コンビニ店舗の約95%で「PAYSLE」の利用が可能となります。さらに、コンビニ収納サービスを取り扱う各社では、山崎製パン株式会社、株式会社しんきん情報サービス、株式会社ポプラ、国分グローサリーズチェーン株式会社にて取り扱いを検討中です。

また、「PAYSLE」を利用可能な請求事業者については、東京電力エナジーパートナー（注3）の電力業界をはじめ、携帯キャリア、生命保険、クレジット、エンターテインメント、後払いサービスなど、多様な業界での「PAYSLE」導入が進んでいます。これに加えてガスや水道などの公共料金、教育、不動産管理、物流、EC 構築など多様な業界の企業・団体へと導入を拡大していく予定です。

「PAYSLE」を利用した決済サービスは、現在、SMBC ファイナンスサービス株式会社、株式会社電算システム、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社、SMBC GMO PAYMENT 株式会社の各決済代行会社より提供を行っております（注4）。

【コンビニ収納サービス「PAYSLE」の概要】

「PAYSLE」は、コンビニなどで公共料金や通信販売の代金等の現金支払いの際に用いる紙の払込票に記載されたバーコードを、独自技術(注5)を活用してスマートフォンの画面上に表示し、コンビニの店頭で決済を実現するものです。

従来、コンビニの店頭レジで支払う際、請求事業者から郵送される払込票やコンビニ店内のキオスク端末(注6)で発行した払込票の提示が必要でした。本サービスでは、利用者がスマートフォン上に表示される電子バーコードを提示し、これをコンビニ店頭レジのスキヤナで読み取ることで、支払いが可能となります。

本サービスは、利用者の利便性向上や、請求事業者の払込票発行・郵送コストの削減、コンビニの店頭・管理業務の効率化につながるデジタル化時代の決済サービスです。

なお、breesは「PAYSLE」を請求事業者へ直接提供するだけでなく、請求事業者の決済サービスを代行する決済代行会社を介しての提供も行っています。

また、利用者は、アプリをスマートフォンにダウンロードすること等により、「PAYSLE」を利用可能となります。

【「PAYSLE」紹介ホームページ(ご利用者様)】 <https://www.paysle.jp/>

【「PAYSLE」紹介ホームページ(ご検討企業様)】 <https://www.paysle.biz/service>

【「PAYSLE」ロゴ】

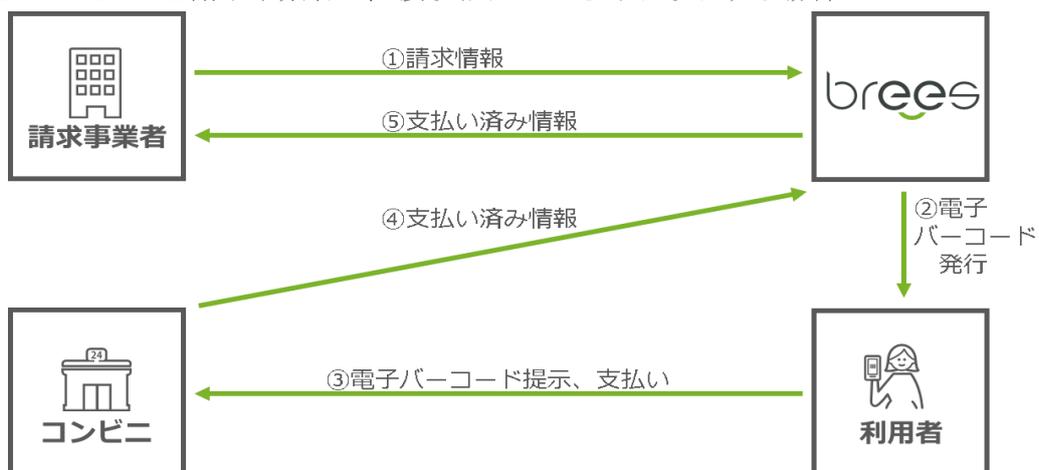


【「PAYSLE」アプリ利用イメージ】

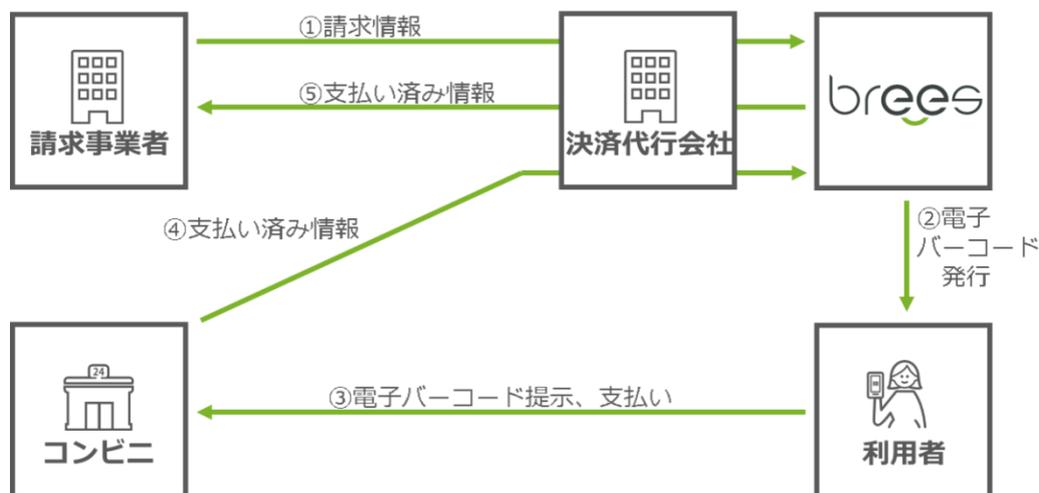


【「PAYSLE」提供フロー図】

1. brees と請求事業者が直接収納データをやり取りする場合



2. brees と請求事業者が決済代行会社を通じて収納データをやりとりする場合（一例）



brees は今後も利用者目線にこだわり、驚きある発想で、新風のようなサービスを創意し、より豊かで明るい社会の実現に貢献していきます。

さらに、「PAYSLE」の特長であるコンビニ払込票の印刷、発送、廃棄に関わる環境負荷の抑制や生産性向上の観点から、「最新のテクノロジーを使ったお客さま目線のサービス提供を通じ、より便利な社会の実現に貢献する」という思いのもと、サービス提供を通じた SDGs (Sustainable Development Goals) の達成にも貢献してまいります。(注7)

brees の親会社である、NEC では、デジタルを活用した新たな顧客体験・顧客理解を可能にするサービスを提供しております。今後も AI、セキュリティ、生体認証などの先進技術を活用し、安心・安全で快適な金融サービスを、あらゆる人と産業へ届けるための取り組みを推進します。

SMBC グループでは、今後もデジタルソリューションプロバイダーとして複雑化する社会課題の解決やお客さまの多様化する経営課題やニーズに幅広くお応えし、国内産業の発展に貢献すべく取り組んでまいります。

- (注1) breees の概要 <https://www.paysle.biz/>
名称 : 株式会社ブリースコーポレーション (brees)
所在地 : 東京都渋谷区円山町 28 番 3 号いちご渋谷道玄坂ビル 8 階
設立日 : 2014 年 12 月 5 日
事業内容 : 決済プラットフォーム事業
株主 : NEC、三井住友銀行 (出資比率 : NEC 51%、三井住友銀行 49%)
代表者 : 佐藤 洋史 (さとう ひろふみ)
- (注2) ファミリーマートでの「PAYSLE」取り扱いが可能となる時期につきましては、請求事業者ごとに異なることがあります。詳しくは「PAYSLE」のホームページ等にてご確認ください。
- (注3) 現在、東京電力エナジーパートナーの料金収納で「PAYSLE」取り扱いが可能なミニストップ、ローソン、ファミリーマートに加えて、セブン-イレブンなど順次取り扱いコンビニを拡大予定です。
- (注4) ファミリーマートでの「PAYSLE」取り扱いが可能となる時期につきましては、決済代行会社ごとに異なることがあります。詳しくは「PAYSLE」のホームページ等にてご確認ください。
- (注5) 従来技術では、一次元バーコードをスマートフォンの画面上に表示すると POS スキャナで読み取れないという課題がありました。
- (注6) コンビニ等の店舗内に設置されている情報通信端末。略称 MMK 端末。
- (注7) SDG s は「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略で、2015 年 9 月の国連サミットにおいて「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」として採択された、2030 年までに「持続可能でよりよい世界」を目指す国際社会共通の目標です。

以 上

<「PAYSLE」導入をご検討の事業者様からのお問い合わせ先>



SMBC ファイナンスサービス株式会社

電話：03-5444-1518

06-4390-2510（大阪）

052-202-1304（名古屋）

（平日 9：00～17：00）



株式会社電算システム

電話：03-3206-6556

（平日 9：00～17：50）



GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

電話：03-3464-2323（東京）

06-7634-3070（大阪）

092 - 688 - 9018（福岡）

（平日 9：00～18：00）



SMBC GMO PAYMENT 株式会社

電話：03-5784-3591

（平日 9：00～17：30）

<「PAYSLE」に関するお客様からのお問い合わせ先>

株式会社ブリースコーポレーション

E-mail：info@brees.co.jp

電話：03-5459-2313（受付時間 月曜～金曜 9：00～17：00）